

ベトナムの中秋節のムーンケーキ

ベトナムには中国の文化が広く根づいている。中秋の時期にはムーンケーキ（月餅）を食べる習慣がある。中華の文化であるが、ベトナムにも深く根付いている月餅文化。中秋の頃には、家族と一緒にいて、食べながら色々な事を話す。普通はスーパー又はお店で販売している。しかし、中秋の一ヶ月前には街中に月餅のお店が増える。この季節には会社内や親戚、知り合いから月餅をもらう事がある。実は私は余り味が好みではないが、月餅は日頃の感謝の気持ちを伝え、つながりの嬉しさを伝えるためのツールになっている。皮の種類は大きく分けて2つあり、茶色く焼かれたバインヌオン（焼いたもの）と白いお餅のような生地バインゼオ（餅っぽいもの）である。8月からは歩道で多くお店を出して、色々な種類が販売される。特にこの時期、高級なホテルでも手作りで販売する。月餅の包みや包装箱は非常に素敵なものが多い。通常のもは、1個6万ドン（約300円）であり、ホテルで販売されているものは30万ドン（約1万5千円）もするものがある。8月頃から店で売られている量が全部売れるのかいつも考えている（日本の恵方巻時期のように）。

（Nguyễn Bích Ngọc 記）



（筆者撮影）知り合いからもらったテルの手作り月餅 50万ドン（約2500円）